

かめのり大学院留学アジア奨学生

月次報告レポート
(2022年5月)

- 研究について

いよいよ今月末に題目届を提出する日が来ました。この機会に、自分の研究を一から見直し、指導教員の先生と何度も打ち合わせをして、不足の部分を調整・補強していきました。

私は「学習者アイデンティティの形成における教師の投資」という研究テーマを維持することができました。「学習者のアイデンティティ」の概念に焦点を当て、学習者の信念が学習過程を通じて変化し、学習への期待が個人の「成功」を達成することを可能にする、あるいは言語的コンテキストの下で言語の使用者になります。これらの変化の重要な要素の一つは、ソーシャルコンパライズンの考え方に関連しており、これは私の論文との関連性を持たせる上で説明が不十分であったため、修正した部分です。学生は常に環境内の他の人と自分を比較し、個人が勉強で進歩している帰属を反映するフィードバックの形にしています。学習者のアイデンティティに関する研究では、学習者がその言語のユーザーであると考えられるためには、競争相手よりも優れている必要があるとされています。

研究の実施に関しては、同じ授業の教師と生徒を観察し、インタビューしたデータをグラウンデッド・セオリー・アプローチで分析する予定です。題目届がスムーズに進み、中間発表の準備ができることを願っています。

- 生活について

皆さんはゴールデンウィークをどう過ごしたでしょうか。ゴールデンウィークといっても、私のゴールデンウィークは2日間しかなかったもので、そこまでゴールデンとは言えません。短い休みとはいえ、学業から解放されることは、これからの課題をこなすための充電期間になります。

映画館に行くのが好きなのですが、コロナが大流行してからは、ほとんど行かなくなりました。久しぶりに映画館に行き、一気に3本の映画を観ました。今回は「名探偵コナン」、「クレヨンしんちゃん」、と「ドクター・ストレンジ」を観ました。3作の中ではドクター・ストレンジが一番期待していたのですが、期待しすぎたのか、期待したほどではありませんでした。それとも、ドクター・ストレンジというキャラクターが好きだったので、それ以上のものを期待していたのかもしれません。しかし、私が観た前作のマーベル映画と比較すると「スパイダーマン・ノー・ウェイ・ホーム」の方が優れていると言わざるを得ません。

今回の映画は最高とは言えませんでした。学校の仕事から離れ、月末や数カ月後に迫った締め切りのストレスから解放されたことは、私にとって大きな収穫でした。